

人の世を渉るは、^①行旅の如く然り。途に^②陰夷有り、日に晴雨

有り。畢竟^③避くるを得ず。只だ宜しく^④処に随ひ^⑤時に随つて

結局のところ避けることができない。

相緩急すべし。速やかなるを欲して以て災ひを取る勿かれ。

早く行き着こうとして

ことがあつてはならない。

猶予して以て期に後るる勿かれ。是れ旅に処するの道にして、

ぐずぐずして

約束の

期日に

方法

即ち世を渉るの道なり。

とりも

である。

なおさず

(注) 陰夷有り…けわしい所もあれば平らなところもあること。

(「言志四録」による)